

東北地方太平洋沖地震以降の 柏崎刈羽原子力発電所の状況についてお伝えします

3月11日に発生した地震・津波により、福島第一、福島第二原子力発電所などが被害を受けました。当社は現在、関係機関と連携しながら、被害を受けた設備の対応に全力で取り組んでおります。

柏崎刈羽原子力発電所の状況

- 運転中の1, 5, 6, 7号機は**安定運転を継続**しています。発電所周辺の放射線の量をモニタリングポスト等で常時監視していますが、数値に異常はなく、外部への**放射能の影響はありません**。(ホームページからご覧いただけます)
- 柏崎刈羽原子力発電所でも地震による大きな揺れにより、使用済燃料プールの水が床面に若干飛散しましたが、拭き取りにより清掃しました。
- 今回の地震以降、当所でも非常時に準じた態勢を組み、福島第一、福島第二原子力発電所への支援を行っています。(人員派遣や変圧器・ポンプなどの資機材、現地での作業に必要な防護服などの提供)

【今回の地震時における当発電所での揺れの大きさ】

- ・ 3月11日 午後2時48分頃(東北地方太平洋沖地震)
→ 当発電所での最大加速度: 15.5ガル(2号機)※
- ・ 3月12日 午前3時59分頃(長野県北部)
→ 当発電所での最大加速度: 18.9ガル(6号機)※

※水平(横)方向で120ガル、垂直(縦)方向で100ガルを検知すると原子炉が自動停止します。
平成19年7月の新潟県中越沖地震における最大加速度は1号機で680ガル(水平方向)でした。



緊急時対策室で対応(免震重要棟)



福島へ応援に向かう当所社員

※3月13日に現在